

活動分野	森の保育		
タイトル	北海道新幹線の旅		
実施日時	平成28年10月26日(水) 9時30分～11時		
実施場所	野田市三ツ堀里山自然園		
受講者	園児32名 先生3名	FIC会員他スタッフ	2名

活動の内容 秋の草花遊び、そして北海道新幹線の旅、山上広場で合唱 担当 小林・金田
天まで抜ける青空、去年の北陸新幹線に続き今年開通した北海道新幹線の旅を行う。

1. 新幹線こぼれ話

去年の北陸新幹線を行ったあと、園児たちが交通博物館見学に行った時の事、園長先生が園児たちに「新幹線に乗ったことがあるひと」と問いかけると、全員が「ハイ」と手を挙げたことに、園長先生はびっくり、「全員が乗車経験者とはすごーい」とマジで思ったそうです。あとで森の保育で行った(北陸新幹線の旅)だったことが分かり「私笑っちゃいました」

2. 秋の草花遊び

園児たちに人気の恒例となった「天突く、グルコサミン、マエケン体操」を行い、広場へ向かう途中イノコズチを採取し ひつつき虫を一人の園児の衣類に付けると「ぼくも、わたしも」とお腹を突き出してくる、結局全員のお腹にひつつき虫を付けてあげると皆満足した様子。またオシロイバナを取り、紙に挟んで「コスリ染め」にも興味深々。

3. 新幹線の旅

去年の教訓を生かして頻繁に運転手、車掌を変え、全員にいずれかを体験させる。本物の新幹線は青函トンネルで北海道にわたるが、この新幹線は鉄橋(木橋だが)を渡るというスリル満点の体験、キャーキャー言いながらも無事渡り切り、(函館)山のふもとで終点。

4. 歌声は大空のかなたに

山上で水分補給、小休憩後鬼ごっこなどでしばし園児たちと戯れる。その後 どんぐりころころ、さんぽなど3曲を草笛の音色にのせて大声で合唱。園児たちの元気な声は大空に吸い込まれて行きました。

5. へび女現る

本日使用したロープは蛇柄模様の登山用ロープである。ある女の子がわたしに持たせると最後まで離さなかった。理由を聞くと「蛇大好きなの、触ると気持ちいいし、夏に青大将を見つけるとポケットに入れて遊んでいるの」
・・・おーっと待った、「私は蛇だけは最大の苦手なんだ」

